



2011.4.23 復活徹夜祭

春の喜び

助任司祭ニコ・コンデイ

自然界は長くて寒い冬を経て、新しい生命力に満ち、春の花咲く喜びと希望を迎えようとしています。私たちの心も、霊的春ともいえるべき「主の復活」の喜びに満ち溢れていると思います。イエスの復活は死後のことだけではありません。この世にあつては、イエスの復活を信じる私たちは、自分がいつか死ぬのではないかと恐れながら生きるのではなく、信頼をもって生きることが出来ます。復活の希望は死んでから味わうものだけでなく、今日喜びをもって生きるための力でもあるのです。私たちの日々の生活が、主の復活の喜びに満たされますように。また私たちに、主の復活の喜びを、信仰する自分の喜びだけでなく、その喜びに触れたことがない、多くの人々に伝える使命があります。この春の喜びを多くの人々が味わうことができるよう努めて参りましょう。

特に、東日本大震災により、非難所または仮設住宅で日々過ごしている人々に、主の復活の喜びとともに新しい希望がもたらされ、勇気と励ましと恵みを与えてくださいますように、被災されている人々が一日も早く安定した生活を取り戻すことが出来るように祈りもとめましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(at the Maria Kan Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

# 受洗おめでとうございます



シエナのカテリーナ

徳平 陽子

マリア

夏目 朋美

ヨゼフ・フランシスコ

原 裕喜

クララ・クリステイナ

原 梨花

小さきテレジア

林 ゆかり

ポルトガルのエリザベト・マリア

三木麻衣子

クララ

三木千紗斗

シエナのカタリナ

三木日菜珠

マリア

南川みち江

アンドレア

吉田 篤史

ミカエル

三輪 佳宏

## 第2回運営委員会議事録

2011年5月1日

### 司祭団より

#### 信徒の皆様への手紙

名簿に載っているが教会にあまり来ていない方へのメッセージ。教会維持費についても触れた。運営委員で内容を確認し、できるだけ早く発行する。

#### 平針教会から

イスを50脚ほど譲り受ける。

#### ミサ献金

ベトナムの方のミサでは献金が南山教会に入っていない。名古屋教区の決まりでは教会に入れることになっている。ベトナム語のミサの司式司祭に申し入れを行う。

### 報告事項

#### 信徒協委員総会

4月10日13時～16時まで

布池コンコルディアホールにて  
神戸会長任期満了。新委員長は、  
東山教会の浜野氏。

昨年度と同じような活動が行われる。変化は、米の一握り運動のために冷蔵庫が導入されることと広報紙が発行されることなど。

#### 宣教司牧評議会総会

4月29日10時～16時

布池コンコルディアホール  
教区全体から司祭、修道者を含め  
百十名ほどが集まった。

はじめに東日本大震災に対する取り組みが紹介された。傾聴者を派遣したい。ボランティアとして関わる青年を半年から一年程度のスパンで派遣したい。

司教様から宣司評のあり方について話があった。信者一人一人が世界の教会の一員であり、教区の一員であるという意識を持つことが必要である。様々な課題も示され、午後は、その課題に対する具体的な提案がブロック毎に話し合われた。総会の最後には、その話し合いの内容が共有された。人材の育成や各種のオリエンテーションの必要性、震災をきっかけとした取り組みを進めていくことの意味などが確認された。

#### 四旬節・復活際の祭儀、パーティー等について

ミサの参加は昨年より多かった。天候の影響で光の祭儀は聖堂内で行われた。

パーティーは主として持ち寄りでもまかなわれた。およそ50名程度の大勢の参加があり、食事はすべてなくなった。テーブル配置については、考える余地がある。

外国人の方から来年度は持ち寄り

に参加したいとの申し出があった。来年度連絡がうまくいくようにする。

四旬節の典札のしおりが減ってきている。補充の必要がある。

御復活の卵は教会学校と中高生会の保護者が準備してくださった。

#### 運営委員名簿

訂正されたものが示された。

#### 2011年度南山教会年間諸行事予定表

訂正版を信徒向けに配布した。

#### 審議事項

##### 今年度バザーについて

今年度バザー実行委員長の西尾さんより提案があった。

実行委員会のメンバー表が提出されたが、副委員長はまだ決まっていない。

主なスケジュールも確認された。

バザーの収益配分については震災のことも考慮に入れて後日決めていく。

##### 営繕委員会新設による運営委員会規約改定について

以下の改定案が示された。

第3条の財務の次に営繕が入る。

第4条(1)の中の財務の次に営繕が入る

第5条(3)の中の財務の次に営繕が入る。

第5条(3)の中の財務の次に営繕が入る。

運営委員会規約の改廃に関する細則に従って改定していく。運営委員会の3分の2以上が規約の改定を求めた。25名の出席者全員。

委員会の構成は、立ち上げ段階では、酒井さん、池田さんのほか、ヨセフ会2名、マリア会2名とする方針。

15日11時20分から打合せ。

##### 教会美化について

5月29日実施予定。ヨセフ会中心に行う。階段手すりのペンキ塗りができるように樹木の剪定を行う。シュロの木が汚いので、しっかり選定したい。

##### 9時半ミサ後のお知らせの利用について

運営委員会翌週に議事の内容を紹介することにしたが、各会の代表も現状のお知らせをしていく。1回1団体3分以内。内容は事前に主任司祭の確認をとる。

順番については、次回運営委員会にて提案。

##### 避難訓練実施について

8月28日に実施予定。ミサ中に地震が起こったとの想定で、9時半ミサ後に実施する。

備えとして、先唱者やミサ当番が対応できるようにしておくことが大切。

前頁からのつづき

ミサは一度始めたら最後まで行わなければならない。

非常口の表示も検討する必要あり。

### 教区障害者の集いについて

7月17日南山教会にて開催される。

教会維持費の意識を高めてもらうための案内文について

信徒の皆様への手紙の中に名古屋教区の方針を含めた案内を作成して入れた。

また、伊藤財務委員長が作成したお知らせの文面を承認した。

外国人に向けてもお知らせする。

### 2010年度決算報告

昨日、坂浦氏により監査が行われた。

各会の節約の意識は高かった。修繕費も抑えられた。

財政状態は健全だが、余裕があるわけではない。

### 各会報告

#### 典礼委員会

4月10日 典礼委員会定例会議  
(聖週間の準備)

4月17日 受難の主日(枝の行  
列)

4月21日 聖木曜日 主の晩餐の  
ミサ

4月22日 聖金曜日 主の受難

4月23日 聖土曜日 聖なる復活  
の徹夜祭

洗礼式で11人の兄弟姉妹が共同  
体に加わった。天候不良のため、  
堂内で光の祭儀を執り行った。

5月1日 聖母月につきミサ前  
に聖母の祈りを捧げる。

5月8日 マリア祭

5月15日 典礼委員会定例会議

5月22日 子どもミサ

4月17日 枝の主日の典礼にお  
ける奉仕

4月21日 聖木曜日の典礼にお  
ける奉仕

4月22日 聖金曜日の典礼にお  
ける奉仕・十字架の道行き

4月23日 聖なる復活の徹夜祭の  
典礼における奉仕

4月24日 復活の主日の典礼にお  
ける奉仕

5月は聖母月ゆえ、朗読奉仕者に  
よる9時半ミサ前の聖母への祈り  
先唱。

5月15日 典礼委員会定例会議

5月22日 子どもミサ  
7月10日 典礼奉仕者の会(全体会  
ボーイ隊より)

マリア館使用について地区から感  
謝状をいただいた。

6月12日スカウトバザーへのご  
協力をお願いしたい。バザー用品  
の寄附受付中。

信徒協

わだち祭にご協力ください。

物品借用、金券販売

英語ミサ

イースターのろうそくをいただき  
ました。

5月1日のミサでは、マイクの電  
池が容量不足。2つのマイクのス  
イッチが入ったままでもまれて  
いた。

大樹の会

5月15日9時半のミサ後マリア館  
和室にてお茶会実施予定。

中高生会

7月29日(金) 7月31日(日)  
に夏合宿を予定。

宿泊場所はカトリック金沢教会  
テーマは「日本の教会の歴史を学  
ぶ」

参加費5千円(兄弟2人目からは  
3千円)

申込締切5月29日(日)  
申込先は南山教会事務所  
申込用紙は教会事務所にある。

中高生父母の会  
5月22日(日) 9時半ミサ後10時

45分よりマリア館ホールにて中高  
生父母会を開催。内容は、中高生  
父母の会の目的について、顔合わ  
せ、1年間の活動予定、決算報  
告、予算案など。中高生の保護者  
の皆様ぜひお集まりください。

カトリック障害者のつどい支援依  
頼の説明と挨拶

港教会の立石さんよりご挨拶、  
社会福祉委員会の村上さんより資  
料提示とともにお話しをいただい  
た。海野さんも同席。

今年7月17日11時 第26回名  
古屋教区障害者の集いが南山教会  
で行われる。

内容は、昼食・交流会、シンポ  
ジウム、司教ミサ。

今年、震災の中での障害者に  
ついて扱う予定。

昼食・交流会の食事準備をお願  
いしたい。会場運営では、受付や  
看護師さん、道案内、駐車場整理  
等ご相談させていただきたい。百  
五十名ほどの参加が見込まれる。

実行委員会を組織して進めてい  
きたい。5月8日11時第1回障害  
者の集い実行委員会。参加者は、  
主任司祭、運営委員長、副委員  
長、ヨセフ会、マリア会、教区役  
員。

次回運営委員会は6月5日

# 愛と苦しき (その27)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

## エピソード・全てのものに優る愛

「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。勝利を得る者を、わたしは自分の座に共に座らせよう。わたしが勝利を得て、わたしの父と共にその玉座に着いたのと同じように。」黙3:20、21

一人ひとりの人生や私たちが生きていく現実そのものは、苦しみに満たされているという事実について納得させる必要のある人は一人もいないでしょう。誰一人苦しみを避けることは出来ません。子どもも、老人も、貧しい人も、豊かな人も、正しい人も、正しくない人も、キリスト者も、そうではない人も皆苦しみます。この文書を書く私も、それを読んでくださった方も、あなたも、苦しむことがあります。神の子であったイエス・

キリストさえも苦しみました。普段、人は、苦しみに対して、どんな態度をとっているのでしょうか。人間は、正常であるならば、自然に苦しみから自分を守るうとして、苦しみを避けるように努めますし、または、避けることができないならば、この苦しみをなくするよう、それとも少しでも和らげるようにするでしょう。それは、本能的な振る舞いですので、それを誰にも教える必要がありません。

イエスも、度々そのような態度をとっていました。イエスの活動をみつめてみれば、イエスは色々な形の苦しきと戦うために、一番長い時間をかけていたということがあります。イエスはご自分自身も色々な苦しみを避けようとしていました。例えば、人々がイエスを岩から付き落とそうとしたときや石で殺そうとしたとき、イエスは逃げました。別の時、逮捕されないように隠れたり、別の場所に移動したりしました。弟子たちにも、苦しきとき

に互いに助け合うように、迫害されるときに、このところから逃げるように教えていました。恐らく、誰でも、そのようなイエスの振る舞いや教えは、常識的なものであると認めるのではないかと思えます。けれども、イエスは、「自分の十字架を担ってわたしに従わない者は、わたしにふさわしくない。自分の命を得ようとする者は、それを失い、わたしのために命を失う者は、かえってそれを得るのである。」(マタ10:38、39)という言葉も述べました。この言葉は、人間の本能、またはイエス自身の教えや生き方に矛盾していると考えても不思議ではないと思えます。このような言葉によってイエスは、弟子たちに苦しきを受け入れるように命じるだけではなく、自分の命を守ることを禁じるように聞こえます。イエスは、そのようにではなく、ご自身の人生においてこのような態度をとる場面が見出せます。例えば、大祭司の下役がご自分を逮捕するためにゲツセマニの園に来るといふことが分かって、イエスは逃げません。ご自分を逮捕することを許すだけではなく、不正な判決を下すこと、さらに、鞭打つこと、十字架に付けて殺す

ことまで許し、このような不正や苦しきと死を自ら受け入れます。このように互いに矛盾しているように聞こえるイエスの教えをどのように一貫させることができるのでしょうか。このように互いに矛盾しているように見えるイエスの行動をどのように理解すれば良いのでしょうか。まず、命の源である神、生きていくすべてのものを愛しておられる神は人間が苦しむことや死ぬことを求めるのではなく、人間が幸せに生きることを求めておられるということを疑う余地がありませんし、それは確実なことであると云わなければなりません。さらに、神はご自分自身が人間の命を大切に、それを尊重するように、すべての人々が、一人ひとりの命を大切に、それを尊重することを求めておられるということも、自信をもって言えます。けれども、神は何よりも愛を求めておられます。神は、私たちが神をはじめ、自分自身、また私たちが隣人、つまりすべての人々を愛することを私たちに最も切に求めておられるのです。なぜなら、神は人間を愛によって、愛に向けて創造してくださいます。私たちが、愛に生きます

し、私たちの愛が完成されると  
きだけ、私たちが完全に幸せに  
なるからです。

イエスは、苦しみや死から自  
分を守るといふ私たちの権利を  
否定していません。それは、私  
たちから誰も奪ってはいけない  
権利であるだけではなく、私た  
ちの義務でもあります。けれど  
も、自分自身に対する最も重要  
な義務というのは、自分の愛を  
守ることなのです。人生におい  
て愛だけが絶対的なものであり  
ますので、神から頂いた愛を保  
つために、苦しみを受けなければ  
ならないときも、さらには、自  
分の命をささげなければならな  
いときも、愛を守らなければな  
りません。ですから、私たちが  
は、愛を選ぶか、自分の都合や  
快楽、自分の野心を実現するこ  
とや欲望を満たすこと、さらに  
自分の命を選ぶかというような  
選択に直面することがあれば、  
必ず愛を選ばなければならな  
いのです。言い換えれば、イエス  
が教えているのは、私たちが人  
生の最終的な目的に辿って、完  
全な人間、つまり創造主である  
神が求めておられるような人間  
になって、神ご自身の命と幸福  
にあずかりたいならば、苦しみ  
を避けることとか、愛を自分の  
すべての選択や決断の基準に

し、この愛に苦しみや悲しみが  
伴うか、楽しみや喜びが伴うか  
関係なく、いつも愛を選ばな  
ければならないということなの  
です。

イエスが自分を苦しみや死か  
ら守るよりも愛を優先するよう  
に教えることができたのは、父  
である神があらゆる苦しみや  
悪、さらに死よりも、力強い方  
であり、あらゆる悪や苦しみを  
善に変える力を持つておられる  
方であると信じたからです。イ  
エスがこの確信は事実であると  
いうことをご自分の受難、死と  
復活によって示してくださいま  
した。神の力と神の忠実を現す  
イエスの復活を信じること、さ  
らにご自分を信じて、ご自分  
に命をゆだねる人を必ず復活さ  
せるといふイエスの約束がもたら  
す希望は、必要に応じて苦しみ  
を受け入れることや、命をささ  
げることによって最後まで愛に  
留まるために必要な力の源なの  
です。

21世紀に生きている私たち  
も、このようなあらゆる悪や苦  
しみ、また死よりも強い神の力  
を体験することができません。そ  
のため、神に信頼し、イエス  
の教えや模範に従って生きよう  
とするによって、神に自分の  
命をゆだねるだけで十分なの  
です。(終り)

### 親子潮干狩り

伊藤 宗太郎

去る4月17日、ボーイ97団は親  
子の絆を深め、また子ども達の自  
然観察をはかるため、知多半島海  
岸で潮干狩りを行った。スカウト  
23名、リーダー、父母23名、総勢  
46名大挙して美浜町北方海岸に押  
しかけた。もちろん、余震多発に  
よる津波を警戒し、避難場所も確  
認した。

ターフテントや着替え用テント  
を用意し、ゆっくりと着替えし  
て、長靴、ぞうり姿で海岸に飛び

出した。クマ手  
やスコップで掘  
ると、アサリが  
ザクザクと捕れ  
はじめた。

キヤーキヤーと  
歓声を上げ、大  
収穫に子ども達  
は大喜びだ。それに、カニや魚を  
追いかけ、クラゲやウミガメの死  
体にビックリ仰天していた。

昼食後も潮干狩りに再挑戦。全  
員網袋に貝を一杯詰め大満足で、  
ニコニコと帰路についた。だが、  
お母さんは夕食に貝の砂出しが大  
変だろうね！





# スカウト

# バザー

日時 6月12日(日)

午前10時 - 午後2時

場所 カトリック南山教会

内容 模擬店、喫茶、委託品、  
缶詰、手芸品、堀出市等



名古屋第97団

# 2010年度決算報告書(2010.4.1～2011.3.31)

## 一般会計

[収入の部]

単位:円

科目	決算	予算
維持献金	18,122,824	17,500,000
ミサ献金	6,350,972	6,300,000
祭儀献金	5,260,000	7,000,000
墓地料収入	610,000	0
その他献金収入	3,361,802	7,500,000
<b>献金小計</b>	<b>33,705,598</b>	<b>38,300,000</b>
特別献金収入	2,166,784	1,200,000
受取利息	45,012	40,000
雑収入	62,895	70,000
<b>収入合計</b>	<b>35,980,289</b>	<b>39,610,000</b>

[支出の部]

科目	決算	予算
典礼書購入	412,295	300,000
聖具補充	26,500	200,000
花・ローソク・ホスチア	527,963	600,000
<b>儀典費小計</b>	<b>966,758</b>	<b>1,100,000</b>
復活祭	22,023	180,000
堅信式	69,180	60,000
敬老の日	146,230	140,000
クリスマス	22,973	70,000
成人式	16,827	20,000
諸行事	85,025	100,000
<b>集会費小計</b>	<b>362,258</b>	<b>570,000</b>
宣教司牧費	575,766	800,000
墓地費	92,700	10,000
黙想会費	0	30,000
教区分担金	2,426,000	2,500,000
宣司評分担金	242,600	250,000
神学院助成金	500,000	500,000
その他寄付金	1,063,572	1,500,000
<b>寄付金小計</b>	<b>1,563,572</b>	<b>2,000,000</b>
運営委員会	0	20,000
典礼委員会	27,958	100,000
広報委員会	210,856	450,000
典礼奉仕者の会	124,987	50,000
大樹の会	0	30,000
ヨセフ会	25,980	130,000
マリア会	52,196	150,000
学生会	2,655	50,000
中・高生会	327,552	400,000
中・高生父母の会	25,051	100,000
教会学校	402,388	630,000
子ども部屋	39,503	50,000
レジオマリエ	0	0
ボーイスカウト	230,000	230,000
信徒協	2,298	30,000
南山手話の会	50,000	50,000
要約筆記者の会	19,644	40,000
英語ミサ	18,298	30,000
<b>諸活動費小計</b>	<b>1,559,366</b>	<b>2,540,000</b>
司祭活動補助費	3,360,000	3,360,000
特別献金支出	2,166,784	1,200,000

[支出の部 続き]

単位:円

科目	決算	予算
建物修理	997,500	3,500,000
オルガン修理	0	300,000
保守管理費	2,247,265	2,200,000
環境整備費	0	500,000
その他	569,761	100,000
<b>修繕費小計</b>	<b>3,814,526</b>	<b>6,600,000</b>
車両維持費	421,931	900,000
印刷費	1,081,468	1,000,000
事務用消耗品費	251,685	250,000
旅費交通費	0	10,000
通信費	1,392,640	1,800,000
消耗品費	1,492,219	650,000
水道光熱費	4,135,759	4,600,000
支払保険料	57,610	80,000
雑費	16,677	210,000
給料	6,495,480	7,400,000
雑給料	580,000	750,000
退職金	0	0
法定福利費	934,280	1,000,000
<b>人件費小計</b>	<b>8,009,760</b>	<b>9,150,000</b>
<b>支出合計</b>	<b>33,990,079</b>	<b>39,610,000</b>
消費収支差額	1,990,210	0

平成23年4月30日

以上の通り、ご報告致します。

財務委員長 伊藤恭輔

監査の結果、公正かつ正確に

処理されていることを認めます。

監査役 公認会計士 坂浦正輝

# 南山句会

平成二十三年四月六日



かやぶきに青ごけ萌ゆる飛驒の里

すこやかにきみ居給うや春隣

洗礼の恵み豊かに四旬節

たつぷりの味噌付けて焼く鱈かな

語り合ふ友みて集ふ桜餅

地震あとの天使のつばさ白木蓮

一輪はグラスに挿して花菜和え

風に乗り光を包むしゃぼん玉

春うららクイズ正解日曜日

痛ましき地震の爪あと初桜

紀子

のぼる

せつ子

光子

佐知子

義子

牧子

洋子

とく子

瑞子

毎月第一水曜日午後一時半  
マリア館一階集会室

## 信者の消息

### 結婚

♡ お幸せに ♡

5月1日  
グナナ吉川直志 ♡ 小さきテレビア林 ゆかり

### 転入

ようこそ

マリア・マルタ 大塚初枝 (豊橋)  
シエナのカリナ 平田彩子 (春日井)  
パウロ 榊原敬 (小平)  
マリア・テレビア 榊原誠子 (小平)  
インマヌエル 榊原祐真 (小平)  
モーゼ 榊原啓希 (小平)  
エリザベト 前田トヨ (小平)

### 帰天

ご冥福をお祈りいたします

マリア 佐竹節子 (87歳)  
クララ 河野昕子 (85歳)  
ゆ 鳥井寛 (84歳)  
アネ 岩本久子 (89歳)

## 2011年5月・6月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
5月	<b>聖母の月</b> 1(日)神のいつくしみの主日	(決算書の承認) 8(日)マリア祭の聖母行列(9:15) (母の日) 22(日)子供のミサ 29(日)教会美化 決算書提出	1(日)運営委員会 8(日)ヨセフ会班長会 8(日)AED講習会(ボーイスカウト) 13(金)マリア会例会(懇談会) 15(日)典礼委員会 21(土)10:30子ども部屋 28(土)要約筆記付きミサ	1(日)召命祈願日 19(木)司祭協議会 29(日)世界広報の日・献金日 29(日)わだち祭り(恵方町教会) (日)建設共同基金総会
6月	<b>聖心の月</b> 5(日)主の昇天 12(日)聖霊降臨の主日 19(日)三位一体の主日 24(金)洗者聖ヨハネの誕生 26(日)キリストの聖体 29(水)聖ペトロ・パウロ使徒	12(日)天使ミサ日英合同ミサ(9:30) 13(月)アントニー師霊名の祝日 26(日)初聖体 教会学校パーティ	3(金)マリア会例会(懇談会) 5(日)運営委員会 12(日)スカウトパーティー 12(日)典礼委員会 12(日)ヨセフ会班長会 18(土)10:30子ども部屋 19(日)信者全体集会 19(日)教会学校潮干狩り 25(土)要約筆記付きミサ	23(木)司祭評議会 26(日)聖ペトロ信徒座への献金